

(6) 2016年(平成28年) 6月9日(木曜日)

父の日はいつなのかご存知ですか？ 毎年父の日を忘れないでお祝いしていますか？ よく聞かれるのは、お祝いしたい気持ちは母の日も父の日も同じなのに、母の日に比べて父の日のお祝いはつい忘れてしまうという話。いったいなせでしょう。これといった理由は特になくとは思いますが、父の日は忙しい6月の後半に訪れ、また普段お仕事で忙しいお父さんに何をしたらあげたら、何を贈ればいいのかがすぐに思いつかない。そうこうしているうちに準備を忘れ、「あれ？ 結局いつだったわけ？」といったところでしょうか。

「Its just like Mother's Day. ... only you don't have to spend as much on the present.」(母の日と同じような日。ただ贈り物にお金をあんまり使わなくてもよい) 20世紀になって面白い現象が起りました。子どもたちが

「南加キリスト教教会連合」 父からの手紙 泉川 嵩

今年で18歳になるインドの青年 Kaushal Saboo が書いた『父親からの手紙』という詩の一部分を翻訳して紹介いたします。 「わが子よ、私をもっと老いたら、よろしくね。もし私が皿を割ったりスプーンをこぼしたら、大声で叱らないでほしい。目がよく見えないから、もし私が君の話をよく聞き取れなかったら、怒らないでほしい。耳が遠いからだ。ごめんね。もし私が立ち上がるのに時間がかかるようになったら、急がないでほしい。膝が弱くなったからだ。君が幼いとき歩き練習をした時、私が助けてあげたように私を助けてほしい。わが子よ、私と話す時間を持つようお願いします。たぶん君は忙しいだろう。少しでもいいから私に時間をくれ。いつか私の死

の時が来たとき、私の手を握ってほしい。耳に向かって声をかけてくれ。心配するな。私が創造主神様と会うとき、彼の耳にささやくよ。私を愛してくれた君をおおいに祝福するように。わが子よ、ありがどう。君をいつまでも愛している。 愛を込めて、父から」

「あなたが生んだ父のことを聞き、年老いた母を軽んじてはならない」(箴言23章22節) 「子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。『あなたと父と母とを敬え』これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている。そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう」(エフェソンの信徒への手紙6章1-3節) (恵み教会牧師)